

明けましておめでとございます。皆さまにおかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

熊本地震から2年8カ月が経過しました。これまで宇城市は、市民の暮らしと生活の再建を最優先課題と位置づけ、全力で取り組んでまいりました。社会基盤の整備や地域産業の再生、災害公営住宅の整備など、被災された方々と共に復興に向けて着実に日々前進していると実感しております。

しかしながら再建のめどが立たず不安を抱えながら生活されている方もおられます。今後も関係機関と連携しながら復興に向け皆さまと共に一丸となって取り組んでまいります。

宇城市は平成29年3月に、市が今後目指すべき方向性を定めた「第2次宇城市総合計画」を策定しました。6つのテーマ「復興する」、「育てる」、「住み続ける」、「持続する」、「選ばれる」、「活躍する」のそれぞれに施策目標を掲げ、まちづくりに取り組んでいます。

超高齢化社会が到来する近未来において、宇城市内外の皆さまから「ちょうどいい」と感じていただき、「住みやすさを実現できる」まちづくりの実現に向け、選ばれ、住み続けたいいただくまちを目指します。その実現のために、道路など社会環境の整備と産業振興による社会の活性化を図ります。

また、次代を担う子どもたちの健全な育成を目的とした子育て支援や、学校現場における情報教育の推進を見据えた市内小中学校への情報機器の導入など、教育環境の整備にも尽力していきますので、市民の皆さまのご支援、ご協力を引き続きお願い申し上げます。

今年「平成」から新しい元号に改まる年です。この記念すべき年が、皆さまにとりまして幸多き年となりますよう祈念申し上げます、新年のあいさついたします。

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、市議会を代表しまして謹んでごあいさつを申し上げます。

皆さまには、穏やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より議会に対しご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、議長就任1年目の私は、市民の皆さまの信頼と期待に応えられる議会運営に努めてまいりました。

議会においては、市民の代表機関として、多種多様化する市の諸問題解決に向けた議論を重ねております。また、議会活動の活性化を図るための議会改革を進めております。

市政においては、「復興するまちづくり」への取り組みとして災害公営住宅整備が進み、小川防災備蓄倉庫の着工を皮切りに、市内6カ所の防災拠点センター整備事業も始動いたしました。また、人口減少を食い止めるため、地域の稼ぐ力を高めることを重点目標とした地方創生にも取り組まれております。

議会といたしましても、今後も皆さまの声を十分お聞きし、市政に反映するよう努めるとともに、本市発展のため誠心誠意尽くしてまいります所存でございますので、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年が皆さまにとりまして、幸多く実りある年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさついたします。



宇城市長  
守田 憲史



宇城市議会議員  
長谷 誠一

New Year Greetings 2019

# 新年のごあいさつ